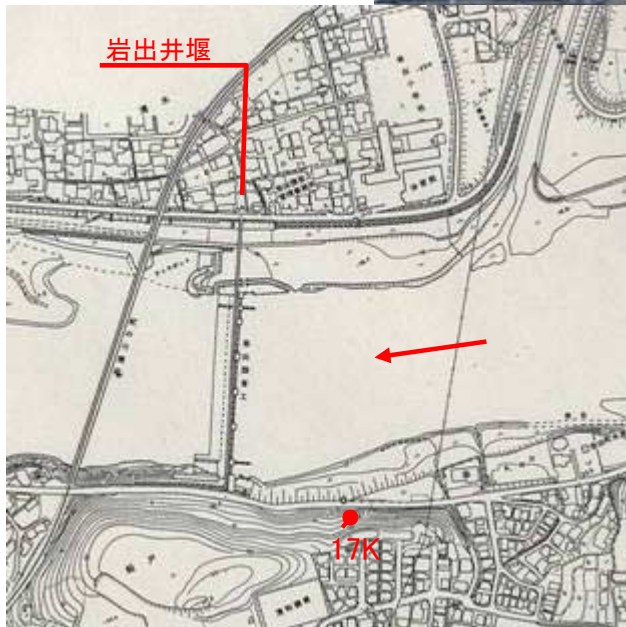
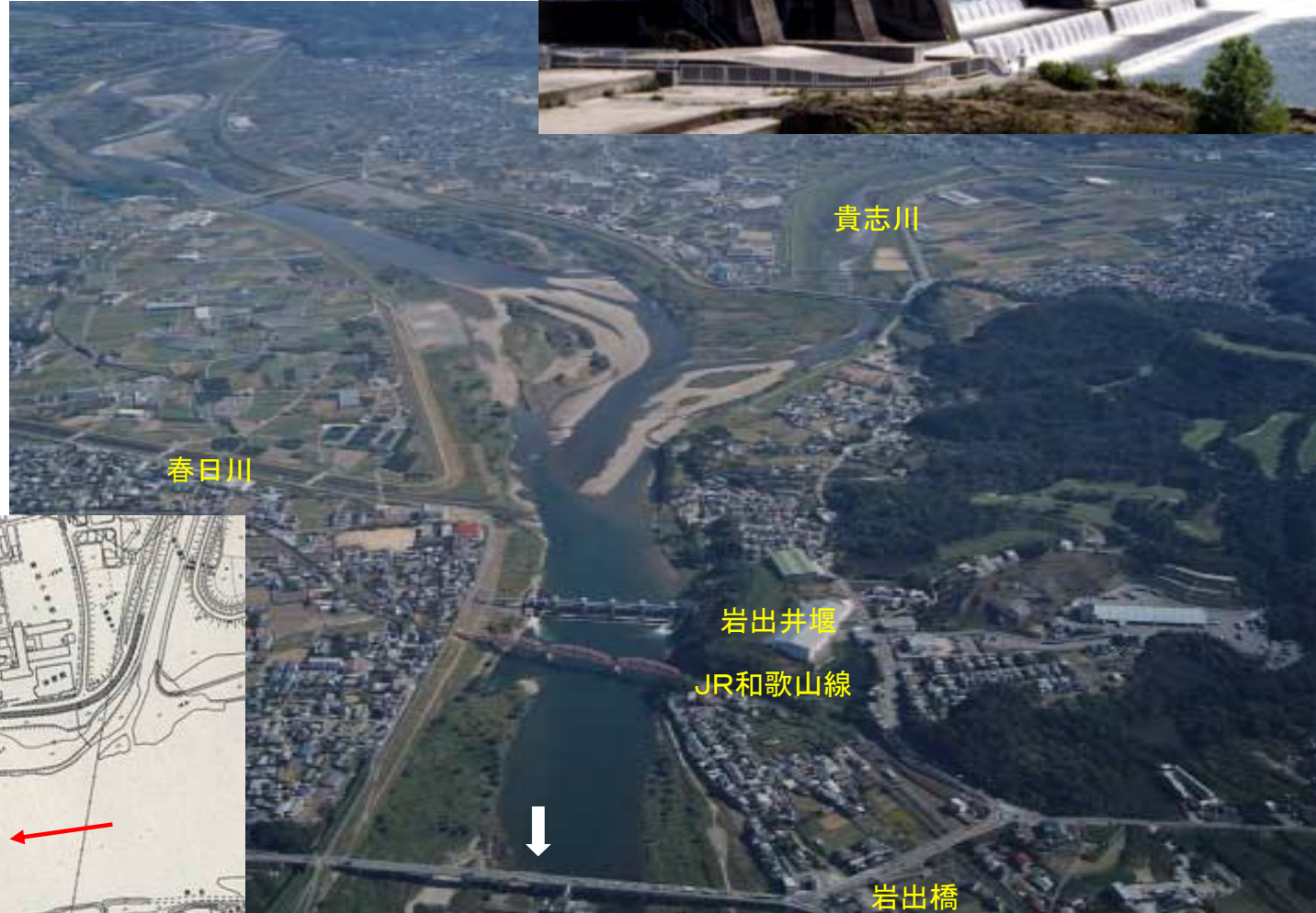


5-1-3岩出狭窄部 付近の状況(1)

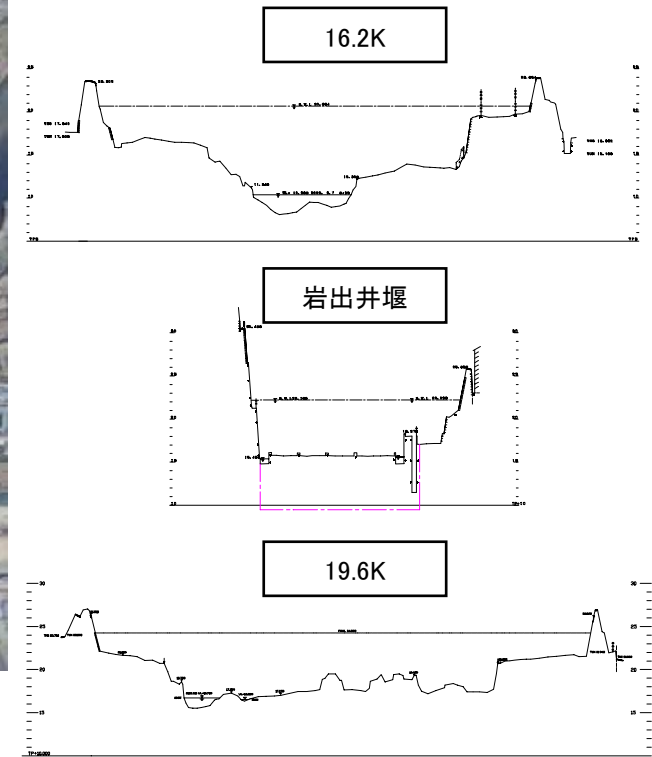


5-1-4岩出狭窄部付近の状況(2)

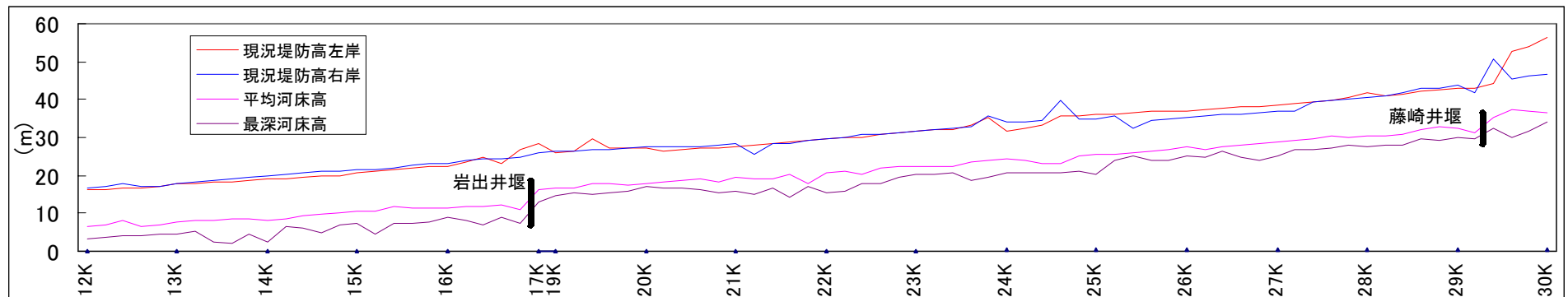
▼岩出井堰周辺の状況



▼横断状況



▼縦断状況



5-1-5岩出狭窄部付近の自然環境

【河道内について】

- 岩出井堰が築造される前には貴志川合流点付近は大きな砂州となっていた。
- 現在、堰の下流側は水深2m以上の淵、堰の上流部は湛水域となっており、貴志川合流点よりも上流が砂州となっている。
- 河床は岩盤・コンクリートとなっている。
- 15km地点付近の河床は砂礫地で、アユの産卵に適しており、天然の産卵場となっている。

【河川敷について】

- 右岸側は人工草地およびヨシ・ツルヨシ・オギ群落である。
- 左岸側は主に高木の樹林地となっている。
- 堰下流の右岸側にはまとまったヨシ群落があり、カヤネズミの生息地やオオヨシキリの繁殖地となっている可能性がある。

【特記事項】

- 徳川家に縁のある御殿山という小山が岩出井堰右岸の小学校の南側にあったが、昭和の始めの紀の川改修の際に取り除かれた。

